

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 11 日(2023.10.11)

【公開番号】特開 2022-110758(P2022-110758A)
【公開日】令和 4 年 7 月 29 日(2022.7.29)
【年通号数】公開公報(特許)2022-138
【出願番号】特願 2021-6365(P2021-6365)
【国際特許分類】

A 47 J 27/00(2006.01)

10

F 24 C 7/02(2006.01)

【FI】

A 47 J 27/00 107

F 24 C 7/02 551B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 10 月 2 日(2023.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子レンジの庫内に設けられた第 1 支持機構に着脱可能に支持されるプレートと、
前記プレートの下面に設けられた第 2 支持機構と、
前記第 2 支持機構に着脱可能に支持される、調理物が収容される容器と
を備え、
前記庫内の底面と前記第 2 支持機構に支持された前記容器の底面との間に間隔が設けら
れる、電子レンジ用調理器具。

30

【請求項 2】

前記第 2 支持機構はマイクロ波透過体からなる、請求項 1 に記載の電子レンジ用調理器
具。

【請求項 3】

前記プレートの前記容器の上部と対向する部分がマイクロ波反射体からなる、請求項 1
又は 2 に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 4】

前記プレートの全体がマイクロ波反射体からなる、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記
載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 5】

40

前記容器の側面を間隔をあけて取り囲むマイクロ波反射体からなる補助部材をさらに備
える、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 6】

前記補助部材は前記電子レンジの前記庫内に着脱可能である、請求項 5 に記載の電子レ
ンジ用調理器具。

【請求項 7】

前記容器は、形状の異なる複数の容器を含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の
電子レンジ用調理器具。

【請求項 8】

前記容器は前記調理物を収容する部分を 2 以上の部分に仕切る仕切部を備える、請求項

50

１から７のいずれか１項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 ９】

前記プレートは、プレート本体と、前記プレート本体に着脱可能であって前記容器の上部と対向するアタッチメント部材とを備える、請求項 １ から ８ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 １ ０】

前記プレートは複数種類のプレートを含み、

前記複数種類のプレートのうちの一つには下面にマイクロ波発熱体が貼り付けられている、請求項 １ から ９ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 １ １】

前記プレートの前記容器の上部と対向する部分に孔が設けられ、

前記孔は前記電子レンジの前記庫内に配置されたセンサと対向し、

前記センサにより前記調理物の温度が直接又は間接的に検出される、請求項 １ から １ ０ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 １ ２】

前記プレートの前記容器の上部と対向する部分に、蒸気は通過させるがマイクロ波は通過させない孔が設けられている、請求項 １ から １ ０ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 １ ３】

前記容器の少なくとも一部が透明である、請求項 １ から １ ２ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具。

【請求項 １ ４】

電子レンジ本体と、

請求項 １ から １ ３ のいずれか １ 項に記載の電子レンジ用調理器具と

を備える、電子レンジ。

【手続補正 ２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０ ０ ０ ７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 ０ ０ ０ ７ 】

本発明の第 １ の態様は、電子レンジの庫内に設けられた第 １ 支持機構に着脱可能に支持されるプレートと、前記プレートの下面に設けられた第 ２ 支持機構と、前記第 ２ 支持機構に着脱可能に支持される、調理物が収容される容器とを備え、前記庫内の底面と前記第 ２ 支持機構に支持された前記容器の底面との間に間隔が設けられる、電子レンジ用調理器具を提供する。

10

20

30

40

50